

印刷技術懇談会 50 周年記念講演会

講演① 『グーテンベルグと印刷の歴史』

(来賓) 浅野 健氏 株式会社金羊社 会長



■ 浅野氏のご挨拶

この 50 周年記念講演会の来賓である浅野氏は、東京工芸大学（当時は写真大学）の第 3 期生で、まだ 4 年生がいなかったとのことなどを、当時の思い出を織り交ぜながら話された。

この講演のタイトルについて、浅野氏は次のように語った。

「印刷技術懇談会の林会長から、記念講演会で「グーテンベルグと印刷の歴史」というタイトルで講演をお願いしたいとの依頼があり、林会長には同社の御殿場工場に工場長も務めていただいたこともあり、引き受けることになった」

■ 講演要旨

浅野氏は、今回のテーマについては「大変話しやすい。なぜならグーテンベルグについての話は諸説あり、誰も『本当のこと』を知らないからだ」と語り、会場の笑いを誘い、場の空気が柔らかくなった。

氏は「印刷という革命」(アンドレー・ベティグリー 白水社)を掲げながら、この厚い本を読んで「印象に残った個所」を話したいということから切り出された。

我々の多くは、グーテンベルグという名前を、活版印刷術の発明者ということは知ってはいるが、そこには「資金の貸し借り」をめぐるドロドロしたトラブルのことや、フストという名前などを知っている人はそれほど多くはないのではないだろ



うか？

浅野氏が強調していたのは、活版印刷術によって本の複製が可能になったが、当時の人々には、そのことが理解できなかったという情景である。人々には、印刷術そのものが「魔法」のように思えただろうと氏は語った。そして、どこに行けば本を購入できるかという事も分からなかったという。

新しい技術が、それをビジネス化（マネタイズ化）するまでには、「相当長い時間」を必要としたようである。本の流通網も販売する店（書店）も、ましてやその市場も全く存在しなかったからである。

浅野氏は、プレゼン資料を一切使わないいつものスタイルで、軽快に語った。聴講者は、リラックスした気持ちで、人類、言葉や文字の誕生から始まって、ゲーテンベルグの時代に至るまでを、いろいろ想像しながら氏の話に耳を傾けたのであった。

「誰も本当のことを知らない」がゆえに、聴講者は、各自自由に思いを膨らませながら耳を傾けることの出来た時間であった。

以下、講演のメモである。

・・・・・・・・・・以下、メモ・・・・・・・・・・

■ 言葉と文字と印刷技術

- ✓ 言葉の誕生
 - 5 万年前
- ✓ 文字の誕生
 - 5 千年前
 - ◇ 「言葉」を記録する。⇒ 誰かに「伝える」（どう伝えるか）
 - ◇ 中国の黄河文明：甲骨文字 ⇒ 漢字へ
 - ◇ メソポタミア文明：楔形文字
 - ◇ エジプト文明：象形文字（ヒエログラフ）
- ✓ 印刷術の誕生
 - 5 百年前
 - ◇ 印刷技術の誕生
 - ◇ 文字の大量複製の時代へ

■ なぜ言葉を記録する必要性があったか？

- ✓ 「宗教の誕生」との関係
 - 経典の必要性
 - 儀式の手順の記録の必要性

■ ゲーテンベルグの印刷術発明以前

- ✓ 原本の「筆写」による本
- ✓ 「製本技術」は「印刷技術」の前に存在していた。
- ✓ 最初（製本以前）は「巻紙」だったかもしれない。

■ メディアの進化

- ✓ 羊皮紙
 - 何度か表面を削って「再利用」したようだ。
- ✓ パピルス
- ✓ 紙
 - 紙が生まれて初めて印刷が可能になった。

■ インキの進化

- ✓ 粘着性必要
- ✓ 濃度必要
- ✓ 乾燥性必要

■ ゲーテンベルグについて

- ✓ 人物評
 - いろいろなことに手を出したようだ。
 - お金を借りることが上手だったようだ。
- ✓ 活版印刷術に取り組む
 - 従来の技術を寄せ集めたもの
 - ◇ インキ
 - ◇ 紙
 - ◇ 印刷機（ブドウ絞り機）

■ ゲーテンベルグの周辺関係者

- ✓ ヨハン・フスト
 - ゲーテンベルグに資金を貸した。
 - （現代の言い方で言えば、「ベンチャーキャピタリスト」）
- ✓ ペーター・シェッファー
 - ゲーテンベルグの弟子
 - フストは自分の娘を嫁がせている。

■ ゲーテンベルグの追放

- ✓ ゲーテンベルグは借金が返済できないために追放され、60 歳ころに没した。
- ✓ 活版印刷の事業はフストとシェッファー2 人の事業になる。

■ 出版の市場形成までの長い時間 ⇒（後追いの市場形成）

- ✓ 同じコンテンツが「大量」で回ることは、当時の人々にとっては初めてのことであった。
- ✓ 人々からは、まるで「魔法」のようなものという捉え方をされたのではないか。
- ✓ 当時の人々は、印刷物をどこで購入したら良いのか分からなかった。
- ✓ 従って、出版物が「お金」なるまで長い時間がかかった。
- ✓ 「出版の市場」は形成されないうちに、活版印刷術が進化した。
- ✓ 印刷所も次々と生まれた。

- ✓ 出版の流通が形成される前に「物」が出来た。
- 現代のデジタル印刷機の登場との類似性は？
- ✓ デジタル印刷機はあるが、デジタル印刷の市場が形成されているか？
- ルネサンスや産業革命への道
- ✓ 印刷所が次々と生まれ、印刷物がどんどん出回るようになった。
 - ✓ 印刷技術による大量印刷物が市場に出回り、情報が伝達されるようになりルネサンス、その後の産業革命へと繋がっていく。

